

Title	林毅陸先生略歴；主要著作目録
Sub Title	Dr. Kiroku Hayashi : his portrait, personal history and major works
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1951
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.24, No.9/10 (1951. 10) ,p.2- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	林毅陸先生追悼記念號
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19511015-0002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

林 毅陸先生略歴

明治 五・五・一 長崎縣東松浦郡田野村中村清七郎氏四男

トシテ生ル

二二・五 林胤三郎氏ノ養子トナル

二六・一 慶應義塾大學部文學科ニ入學ス

二八・一二 慶應義塾大學部文學科ヲ卒業ス

二九・一 慶應義塾教員ニ就任ス

三四・二 慶應義塾ヨリ歐洲留學ヲ命ゼラル、專攻

科目歐洲外交史、外ニ比較憲法特ニ英國憲法ノ研究ヲ命ゼラル

三八・二 歸朝、慶應義塾大學政治學科教授ニ就任、

歐洲外交史ノ外ニ英國憲法ヲ擔當ス

四一・一一 東京高等商業學校講師ヲ囑託サル、外交

史ヲ擔當ス

四三・四 慶應義塾大學政治科主任(後ノ學部長ニ

當ル)ニ任ゼラル

四五・五・一五 衆議院議員ニ當選、後更ニ三回當選ス

大正 五・四・一 大正三、四年ノ功ニ依リ勳四等瑞寶章ヲ

授ケラル

八・四・一二 ブルツセル萬國議院商事會議參列ノタメ

衆議院ヨリ派遣渡歐、一行ノ副團長トナ

ル

八・四・二三 博士會ノ推薦ニヨリ法學博士ノ學位ヲ授

與サル

八・七・二五 パリ平和會議ニ於テ帝國全權事務所ヨリ

一八三九年條約委員會委員ヲ囑託サル

九・一 歸朝

九・八・二六 外務省參事官ニ任ゼラレ高等官二等ニ敘

セラル

九・九・七 對獨平和條約等締結ノ功ニ依リ勳三等瑞

寶章ヲ授ケラル

九・九・一〇 正五位ニ敘セラル

一〇・九・二七 ワシントン會議ニ參列ノ全權委員ニ隨行

ス

- 一一・一二・八 慶應義塾理事ニ當選ス
- 一二・五・一五 衆議院議員ヲ辭ス
- 一二・七・六 臨時法制審議會臨時委員トナル
- 一二・七・一六 教育評議會委員トナル
- 一二・一一・二〇 慶應義塾々々長ニ當選、同塾大學總長ヲ兼任ス
- 一三・四・一五 文政審議會委員トナル
- 昭和 三・一一・一〇 私立大學長總代トシテ即位大禮ニ參列、旭日中授章ヲ授ケラル
- 八・一一・二八 慶應義塾理事塾長兼同塾大學總長ノ任期滿了シ退任ス
- 八・一二・一 慶應義塾大學法學部教授ニ就任ス
- 九・三・一 財團法人交詢社理事長ニ當選ス
- 九・五・一五 日本放送協會理事ニ就任ス
- 一一・一・三一 帝國學士院會員トナル
- 一一・一二・一 東亞同文會理事ニ就任ス
- 一五・三・四 財團法人標準ローマ字會理事長ニ當選、同時ニローマ字ヒロメ會々頭ニ就任ス

- 一九・三・三一 慶應義塾大學法學部教授ヲ退任ス
- 一九・四・一 慶應義塾大學名譽教授兼講師トナル
- 一九・一一・二九 交詢社理事長ノ任期滿了シ退任ス
- 二一・二・二八 東亞同文會理事ヲ辭任ス
- 二一・四・二六 日本放送協會理事ヲ辭任ス
- 二一・六・一〇 樞密顧問官ヲ舞命ス
- 二一・九・二六 交詢社常議員ニ當選ス
- 二一・一〇・一二 慶應義塾評議員ニ當選ス
- 二一・一〇・一五 愛知大學々々長委嘱ヲ受ケ、同日同大學認可ト同時ニ認可サル
- 二二・二・二〇 財團法人國際法學會理事ニ推舉サル
- 二二・三・三一 慶應義塾大學講師ヲ辭任ス
- 二二・五・二 樞密顧問官ヲ退官ス
- 二四・一一・三 歐洲最近外交史研究ニ就キ、義熟賞及ビ賞金ヲ授與サル
- 二五・一二・一七 死去

林 毅陸先生主要著作目録

著 譯 書

- | | | |
|-------------------------|-----------|-------|
| ポリニュー著露西亞帝國 | 東京専門學校出版部 | 明治三四年 |
| 歐洲近世外交史上卷 | 慶應義塾出版局 | 明治四一年 |
| 歐洲近世外交史下卷 | 慶應義塾出版局 | 明治四二年 |
| 最近の歐洲外交 | 慶應義塾出版局 | 大正三年 |
| 三國同盟と三國協商 | 富山房 | 大正三年 |
| 新語 歐洲近世外交史 (上卷) | 一誠社 | 昭和八年 |
| 新語 歐洲近世外交史 (中卷) | 高原書院 | 昭和八年 |
| 最近世界の外交 鹿島守之助・赤松祐之兩氏と共著 | 一誠社 | 昭和九年 |
| 新語 歐洲近世外交史 (下卷) | 一誠社 | 昭和九年 |
| ランシング著戰時回想錄に對する巨彈 | 生命の光社 | 昭和一〇年 |
| 外交界の二樞軸 | 慶應出版社 | 昭和一二年 |
| 外交の常識 | 日本放送出版協會 | 昭和一三年 |
| 歐洲外交の史的考察と現勢 | 啓明會 | 昭和一五年 |
| 歐洲最近外交史 | 慶應出版社 | 昭和二二年 |

論 說

近東問題に就て

英國の貴族院問題

勢力の均衡

佛西麻洛哥の談判

歐洲戰亂破裂前の英國外交

獨逸の外交

最近の巴爾幹問題

佛國の外交

歐洲大戰の責任

南スラブ統一問題

日米共同宣言の所謂特殊利益を論ず

外交問題管見

白耳義に關する一八三九年條約改訂委員會に就て

華府會議と我帝國

最近國際政治の趨勢

ウィルソンを憶う、 其他

加藤内閣に望む

安全保障問題

華盛頓海軍條約廢止通告に就て

國際聯盟離脱に際して

史學雜誌二〇卷八一—九號

三田學會雜誌四卷三號

國際法雜誌一〇卷三號

外交時報一六卷一八五號

三田學會雜誌八卷九號

獨逸研究(教育學術研究會編)

三田學會雜誌一〇卷四—七號

佛國研究(教育學術研究會編)

三田學會雜誌一一卷一—二號

三田學會雜誌一一卷九號

三田學會雜誌一二卷一號

外交時報三一卷三七一號

國際法外交雜誌二〇卷二號

外交時報三五卷四二〇號

外交時報三六卷四三三號

國際知識四卷四號

外交時報四〇卷四七〇號

外交時報四一卷四八八號

外交時報七三卷七二三號

外交時報七四卷七二八號

明治四二年

明治四三年

明治四四年

明治四五年

大正三年

大正四年

大正五年

大正六年

大正六年

大正六年

大正七年

大正九年

大正一〇年

大正一一年

大正一一年

大正一三年

大正一三年

大正一四年

昭和一〇年

昭和一〇年

獨逸の所謂爆彈宣言に就て

國際知識一五卷五號

昭和一〇年

大戰以來の歐洲難局と英佛

外交時報七六卷七四〇號

昭和一〇年

伊エ紛争を繞る國際情勢

國際知識一五卷一〇號

昭和一〇年

ロンドン軍縮會議の不成功に就て

外交時報七七卷七四八號

昭和一〇年

エチオピアの悲運と歐洲の政局

外交時報七八卷七五六號

昭和一〇年

「ランシング戰時回想論」と日本に對する誣謗

外交時報八〇卷七六五號

昭和一〇年

白耳義の中立復歸

外交時報八二卷七八〇號

昭和一一

太平洋不可侵條約問題に付て

外交時報八三卷七八三號

昭和一一

九國條約會議に就て

外交時報八四卷七九一號

昭和一一

歐洲二樞軸の新しき動き

外交時報八六卷八〇五號

昭和一一

國際政治の動きとイデオロギーの對立

外交時報八七卷八一號

昭和一一

佛伊關係を中心としての歐洲の新情勢

外交時報八九卷八二〇號

昭和一一

バルカンを中心とする形勢

外交時報九〇卷八二七號

昭和一一

ポーランド問題と列強の動き

外交時報九二卷八三六號

昭和一一

第二次大戰前夜の二究研

外交時報九五卷八五九號

昭和一一

「平和的變更の行方」

慶應義塾大學法學論集
外交時報一〇二卷九〇一號

昭和一七年

備考

ここに掲載した以外のものは、主として雜誌三田評論、成人などに收められているが、それについては本年十一月林家に
おいて刊行される書の「生ひ立の記」の詳細な著作目録に譲り、ここでは主要な著書と論文のみを年次に順つて掲載するこ
ととした。

なお「林毅陸先生略歴」および「主要著作目録」は、内山正熊並に石川忠雄が擔當作成したものである。